

1. 件 名：公益財団法人核物質管理センター六ヶ所保障措置センターの事業者防災訓練報告について

2. 日 時：令和5年2月17日 10:40～11:55

3. 場 所：原子力規制庁3階 室内会議卓

4. 出席者

原子力規制庁 緊急事案対策室

蔦澤防災専門職、澤村防災専門官、本間防災専門職

(以下、テレビ会議システムによる出席)

公益財団法人核物質管理センター六ヶ所保障措置センター

安全管理課長代理 他1名

5. 要 旨

公益財団法人核物質管理センターから、令和4年9月27日に実施した同法人六ヶ所保障措置センターの原子力事業者防災訓練について、配布資料に基づき、防災訓練実施結果報告の概要等の説明があった。

原子力規制庁から、以下の事項を伝えた。

- ・ 模擬ERCを設置した要素訓練については、模擬ERCであることを明確化すること。
- ・ 前回訓練で指摘された改善点について、要素訓練における検証結果のみの記載となっている部分があるが、総合訓練で検証した部分があるならば、記載すること。その際、改善が不十分な点がある場合には、記載すること。
- ・ シナリオの開示内容を具体的に明記すること。
- ・ 日本原燃株式会社との連携について、必ず同時発災となることを前提に連携するような記載であるが、そうでないケースのあるのであれば、見直すこと。
- ・ 評価を行った際の、判断の根拠を明記するとわかりやすくなる。
- ・ 日本原燃株式会社との協力内容についても、具体的に記述すること。また、日本原燃株式会社との協力で、出来たことと、課題を明確にし、今後に生かすこと。
- ・ 2部訓練の記載において、3回連絡したとされているが、25条報告であるならば、内1回が訂正報であることを明記すること。
- ・ 来年度から、2部訓練については、訓練の趣旨を踏まえ通報連絡を主体とした記載とすること。

公益財団法人核物質管理センターから、本日の面談を踏まえて防災訓練

実施結果報告書を精査し、取りまとめた後に提出するとの説明があった。

6. その他

配布資料:

資料1 防災訓練の結果の概要

(公益財団法人核物質管理センター六ヶ所保障措置センター)